

シミュレーション演習 G. 総合演習 第2回 演習問題

2005年7月15日

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

1. 2次元空間の曲線の描画

ある質点の時刻 t における位置が、 $(\cos t - \cos 2t, \sin t - 0.5 \sin 4t)$ で表されるものとする。

- (a) この質点の時刻 $t = 0 \sim 3.0$ の間の軌道を、2次元グラフに曲線として描画せよ。

解答にはMathematicaに入力したコマンドのみを記述すること。出力結果は記述しなくても良い。(以下同じ。)

```
In[1]:= c[t_] := {Cos[t] - Cos[2 t], Sin[t] - 0.5 Sin[4 t]}
```

```
In[2]:= ParametricPlot[c[t], {t, 0, 3.0}];
```

- (b) (a)と同じ軌道を、31個の離散的な点の位置としてリストに格納し、グラフに点として描画せよ。

```
In[3]:= cd = Table[c[i], {i, 0, 3.0, 0.1}];
```

```
In[4]:= g1 = ListPlot[cd, AspectRatio -> Automatic, PlotStyle -> PointSize[0.02]];
```

- (c) 同じく、31個の点を使った折れ線グラフを、(b)と重ねて描画せよ。

```
In[5]:= g2 = ListPlot[cd, AspectRatio -> Automatic, PlotJoined -> True];
```

```
In[6]:= Show[{g1, g2}];
```

- (d) (a)の連続データと、(b)で作成した離散データのそれぞれについて、 $t = 2.0$ のときの値を表示して、両者が等しいことを確認せよ。(この問題については、入力コマンドだけでなく出力結果も記述すること)

```
In[7]:= c[2.0]
```

```
In[8]:= cd[[2.0/0.1 + 1]]
```

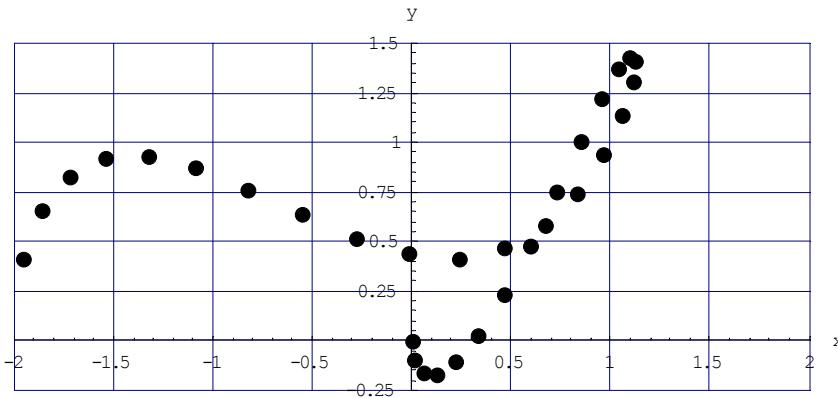
```
Out[7]= {0.237497, 0.414618}
```

```
Out[8]= {0.237497, 0.414618}
```

- (e) (d)のグラフを、下のグラフと同じになるように、描画範囲・ラベル・グリッドの設定を変更して描画せよ。また、出力結果を、下のグラフに書き写せ。

```
In[10]:= g1g = ListPlot[cd, AspectRatio -> Automatic, PlotStyle -> PointSize[0.02],
PlotRange -> {{-2.0, 2.0}, {-0.25, 1.5}}, GridLines -> Automatic, AxesLabel -> {x, y}];
```

```
In[11]:= Show[{g1g, g2}];
```



- (f) $t = 0.0, 0.5, 1.0, 1.5, 2.0, 2.5, 3.0$ の各点の右上に、各点における t の値を表示せよ。

```
In[12]:= cdtext = Table[Text[i * 0.1 * 5, cd[[i * 5 + 1]], {-0.5, -1}], {i, 1, 6}];
```

```
In[13]:= Show[{g1g, g2}, Graphics[cdtext]];
```

裏に続く。

2. 3次元空間の曲線の描画

ある質点の時刻 t における位置が、 $\left(e^{-t} \cos\left(2t + \frac{\pi}{5}\right), e^{-t} \sin\left(2t + \frac{\pi}{5}\right), \frac{-t}{t^3 + 1} + 0.3 \right)$ で表されるものとする。

- (a) この質点の時刻 $t = 0 \sim 3$ の間の軌道を、3次元グラフに曲線として描画せよ。

```
In[1]:= p[t_] := {Exp[-t] Cos[2 t + Pi/5], Exp[-t] Sin[2 t + Pi/5], -t/(t*t*t + 1) + 0.3}
```

```
In[2]:= g1 = ParametricPlot3D[p[t], {t, 0, 3}, AspectRatio -> Automatic, AxesLabel -> {x, y, z}];
```

- (b) この曲線と xy 平面 ($z = 0.0$) とが交差する時刻 t を全て求めよ。(この問題は、出力結果も記述すること)

```
In[3]:= answer = Solve[p[t][[3]] == 0, t]
```

```
Out[3]= {{t -> -1.96046}, {t -> 0.308837}, {t -> 1.65163}}
```

- (c) (b) で求めた全ての交点の位置をリストに格納して、(a) のグラフと重ねて3次元グラフに点を描画せよ。
(ヒント : Solve 関数を使って解を計算すると $answer = \{t \rightarrow 0.8\}$ のようなルールの形で解が得られるので、Replace 関数を Replace[t, answer] のように適用すると、数値のみが得られる。リストにも適用可能。)

```
Out[5]= {{0.234332, 0.695906, 0.}, {-0.134957, -0.136199, 0.}}
```

```
In[4]:= a = Replace[t, answer]
```

```
In[6]:= pt = Map[Point, qp];
```

```
Out[4]= {-1.96046, 0.308837, 1.65163}
```

```
In[7]:= pg = Show[Graphics3D[{PointSize[0.03], pt}]]
```

```
In[5]:= qp = Table[p[a[[i]]], {i, 2, 3}]
```

```
In[8]:= Show[g1, pg];
```

- (d) (c) で描画した交点が本当に xy 平面と交差しているかどうか、(c) を真横から見たグラフを描画して確認せよ。

```
In[9]:= Show[g1, pg, ViewPoint -> {0.0, 1.0, 0.0}];
```

3. スカラ場

時刻 $t=0$ において $-e^{-t} \sin x \cdot \sin y$ 、時刻 $t=1$ において $-e^{-t} \sin 2x \cdot \sin 2y$ 、時刻 $t=2$ において $-e^{-t} \sin 3x \cdot \sin 3y$ の値をもつ2次元のスカラ場を考える。ただし、 x, y の範囲は、それぞれ、 $-1 \sim 1$ であるとする。

各時刻のスカラ場を、スカラ値を高さで表した3次元グラフと、スカラ値を濃度で表した2次元の密度プロットの両方で描画せよ。(解答には、どれかひとつの時刻について描画するコマンドのみを書けば良い。)

```
In[1]:= ft = {-Exp[-x] Sin[x] * Sin[y], -Exp[-x] Sin[2 x] * Sin[2 y], -Exp[-x] Sin[3 x] * Sin[3 y]}
```

```
In[2]:= DensityPlot[ft[[3]], {x, -1, 1}, {y, -1, 1}, PlotPoints -> {50, 50}];
```

```
In[3]:= Plot3D[ft[[3]], {x, -1, 1}, {y, -1, 1}, PlotRange -> All];
```

※ リストを作成せず、直接各時刻の状態を描画しても良い。

4. 自由度

上の問題 2・3について、次の文章の空欄に当てはまる数字を書きなさい。(ヒント : 0 も有り得る)

この問題の自由度は (ア) であり、そのうち連続データの数が (イ) 自由度、離散データの数は (ウ) 自由度である。この問題を Mathematica で表現すると、(エ) 変数を引数とする関数の (オ) 次リストとして表すことができる。

問題 2 (ア) 4 (イ) 4 (ウ) 0 (エ) 1 (オ) 1

問題 3 (ア) 4 (イ) 3 (ウ) 1 (エ) 2 (オ) 1

質問・意見

講義・演習の内容について何か意見などがあれば自由に書いてください (成績には関係ありません)。